

【別紙様式】平成27年度 環境生活部 施策評価調書

No.1

<基本情報>

施策名	地域から取り組む地球環境の保全			<input type="checkbox"/> 内部等管理業務	施策コード	03 - 06
計画等の位置付け	総合計画	<input type="checkbox"/>	未来づくり戦略	<input type="checkbox"/>	所管部(局)名 作成責任者名 照会先グループ・内線	地球温暖化対策室
	地域重点プロジェクト	<input type="checkbox"/>	特定分野別計画	<input type="checkbox"/>		
			前年度に二次政策評価意見を付与	<input type="checkbox"/>		

<計画: Plan> 業務目標の設定:各部署が実施

1 業務目標及び今年度の取組	(1)業務目標 [当該施策分野において目指すべき具体的な姿]	(2)今年度の取組 [予算や組織改編等への反映状況]
	<ul style="list-style-type: none"> 再生可能エネルギーの利用拡大を目指す。 環境に配慮したライフスタイル、ビジネススタイルが定着することを目指す。 水素社会の形成を目指す。 温室効果ガス排出量が低減することを目指す。 	<p><主な取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ①グリーンニューディール基金を活用し、地域の防災拠点となる公共施設等に地域特性を活かした再生可能エネルギーの導入を促進。 ②二酸化炭素削減に有効な水素の利活用を促進し、水素社会の形成を加速するため、普及啓発や産学官が連携した取組を実施。 ③北海道地球温暖化防止活動推進員の講習会等講師としての派遣等による地球温暖化防止行動の普及啓発を実施。 ④省エネ3Sキャンペーンによる民生家庭部門を対象とした省エネの取組の推進やエコアンドセーフティ事業の推進、カーボン・オフセットの取組の推進。 ⑤「フロン排出抑制法」に基づく、フロン類の大気中への排出抑制対策の推進。 ⑥庁内の取組を「ガイア・NEXTプロジェクト」として総合的に推進。 <p>(新たな取組等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・温室効果ガス削減だけでなく、エネルギーの地産地消の促進等にも寄与する水素社会の形成に向け産学官が連携して取組を進めるため、「北海道水素イノベーション推進協議会」を開催する。 ・水素社会形成の取組を加速させるため、本道の水素社会形成に向けたビジョンを策定するほか、水素エネルギーの利活用に向けた普及啓発を実施する。
2 前年度意見への対応	(1)前年度「改善意見」 [二次政策評価における「5改善意見」の内容]	(2)改善意見への対応 [前年度評価「5改善意見」への対応状況]
	<p>(具体的な意見内容)</p> <p>【その他:人口減少】</p> <p>人口減少問題への対応の視点を踏まえ、地域特性を活かした再生可能エネルギーを有効活用するエネルギーの地産地消の促進による域内循環型ビジネスの育成と雇用の維持・拡大に向け、より実効性の高い取組となるよう検討すること。</p> <p><input type="checkbox"/> 総計</p> <p><input type="checkbox"/> 公約</p> <p><input type="checkbox"/> 行財政改革</p> <p><input type="checkbox"/> 進捗状況</p> <p><input type="checkbox"/> 前年度二次意見</p> <p><input type="checkbox"/> 指標設定</p> <p><input type="checkbox"/> 重点課題</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> その他</p>	<p>(具体的な主な取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「本道における人口減少問題に対する取組指針」に基づき、地域の再生可能エネルギー等による循環型ビジネスを育成するため、引き続き本道の豊富な再生可能エネルギーの導入促進を図るほか、新たに産学官が連携して水素社会形成に向けた取組を促進する。

<実行: Do> 施策の推進

平成27年8月1日現在

3 具体の取組	<p>主な取組・実績 ◎:前年度意見への対応 ○:主な取組 ●:主な実績</p> <p>(具体的な主な取組・実績) ※構成事業は別表1のとおり</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ① ◎地域の防災拠点となる公共施設等への再生可能エネルギー等の導入促進等 <ul style="list-style-type: none"> ●グリーンニューディール基金を活用した再エネ設備の導入促進 <ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度実績 本体工事8事業、実施設計4事業。平成27年度は8事業を実施予定 ・地域資源活用詳細調査(H26実施)を活用した取組促進 ② ◎水素社会の形成加速 <ul style="list-style-type: none"> ●北海道における水素社会形成に向け、水素エネルギーの利活用拡大に向けた取組を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・勉強会の開催(H26:3回、H27:1回(5月)*適時開催予定 ・次世代自動車(燃料電池自動車)展示・試乗会開催(H27:1回(5月)) ・北海道水素イノベーション推進協議会の開催(H26協議会設置、H27:4回開催予定(1回目7月開催済み)) ③ ○地球温暖化防止行動の普及啓発 <ul style="list-style-type: none"> ●北海道地球温暖化活動推進員の派遣 <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年4月から第8期28名を推進員として委嘱。平成26年度に推進員40回派遣、H27年度は7月末現在8回派遣。 ●地球温暖化防止フォーラムを開催(H26.12月(温暖化防止月間)1回開催、H27:1回開催予定) ④ ○「省エネ3Sキャンペーン」など、民生家庭部門を対象とした省エネの取組等の推進 <ul style="list-style-type: none"> ●「おうちの省エネ見える化サイト」で、家庭の取組への普及啓発・支援を実施。(H25~実施中) ●エコアンドセーフティの普及啓発イベントを実施(H26:3回、H27:4回予定)、エコドライブ推進校と連携した講習会を実施(H27:6回予定。) ●北海道クールアース・デイ(毎年7/7)を中心とする期間に赤れんが庁舎前庭でキャンドルを灯し地球環境のことを考える「赤れんがガイアナイト」を実施するほか、「ガイアナイトイベント」を道内各地で実施(H26:6月~9月道内10カ所、H27:6月~8月 道内10カ所実施) ●道が行うナチュラルクールビス、ウォームビスの取組のほか、オフィスや店舗などでの省エネ型ビジネススタイル・ライフスタイルを呼びかける「北海道クールあいらんどキャンペーン」(6月~9月)、「北海道あったまろうキャンペーン」(11月~4月)を実施 ●カーボン・オフセットの取組を進める協議会にオブザーバ参加し、オフセット商品開発や販売拡大の取組について助言するなど連携を促進(H26~実施中)。また道のイベントで排出するCO2をオフセットし、カーボン・オフセットのPRを実施(H27:1回実施。適宜実施予定) ⑤ ○「フロン排出抑制法」に基づく、フロン類の大気中への排出抑制対策の推進 <ul style="list-style-type: none"> ●業務用冷凍空調機器やエアコンの管理者ほか、フロン類の利用等に関わる各主体による適正管理の推進(「北海道フロン類適正管理推進会議」の開催:H27 3回予定、管理者向け講習会:H27.12月~5回予定、実態把握調査:H27.10月~12月予定 ほか) ●管理者や充填回収業者等に対する普及啓発のためのシンポジウム開催(H27.12月予定) ⑥ ○庁内の取組を「ガイア・NEXTプロジェクト」として取りまとめ、施策を総合的に推進 <ul style="list-style-type: none"> ●知事を本部長とする「北海道地球温暖化対策推進会議」において、平成26年度55事業・約79億円、平成27年度54事業・約121億円の取組を「ガイア・NEXTプロジェクト」事業として決定して全庁的に取組を進め、地球温暖化防止対策の推進を図っている。

一次政策評価の結果	4 (1)進捗状況の判定 (詳細は、別表2のとおり)													
	① 各成果指標の進捗状況 [左: 指標名、右: 進捗度合]													
	A 定量的 指標	1) 温室効果ガス排出量	やや遅れ	2) 新エネルギー導入目標*原油換算	概ね順調									
	② 総合判定結果			概ね順調							B 定性的 指標	1) 温暖化対策の取組の推進状況	順調	
	区分		進捗度合の指標数											
			順調	概ね順調	やや遅れ	遅れ	計	その他						
	定量的指標			1	1		2							
	定性的指標		1				1	-						
	計 (比率)		1 (33%)	1 (33%)	1 (33%)	- (-)	3 (100%)	-						
総合判定			○											
(2)課題														
①喫緊の課題					②中長期的な課題									
(具体の主な内容) ・本道に賦存する再生可能エネルギーの高いポテンシャルを活かした取組により、低炭素地域づくりをさらに進める必要がある。 ・家庭部門や運輸部門の排出割合が高いという本道の地域特性を踏まえ、省エネの取組の更なる促進のほか、水素エネルギーの活用など効果的な地球温暖化対策の取組を引き続き進める必要がある。 ・本年末のCOP21での合意状況を踏まえ、国の新しい地球温暖化対策計画が策定される予定であり、北海道地球温暖化対策推進計画の見直しを検討を行う必要がある。 ・国において温暖化への「適応策」に係る計画を本年夏を目途に策定予定としており、道の対応の検討に向けた情報収集を行い道としての対応を検討する必要がある。 ・H27.4に全面施行された「フロン排出抑制法」について、業務用冷凍空調機器の管理者による適正管理を推進する必要がある。					(具体の主な内容) ・二酸化炭素排出割合が高い家庭部門、運輸部門における排出量削減に有効な水素エネルギーの活用を拡大し、水素社会の形成に向けた取組を促進するなど、より具体的・効果的な取組を積極的に進める必要がある。 ・今後、国の新たな地球温暖化対策計画が策定された段階で「北海道地球温暖化対策推進計画」の見直しを適切に実施し、取組の促進を図る必要がある。 ・温暖化の影響を抑えるための温室効果ガスの排出削減の取組（緩和策）だけではなく、温暖化により引き起こされる事態に対応するための「適応策」について、道の関連部署が連携して取組を進める必要がある。									
(3)施策の方向性 [(1)、(2)を踏まえ、取組の強化、改善などの方向性を記載]														
(対応方針)														
A ・家庭部門や運輸部門における省エネの取組について、新たな視点での省エネの提案などの取組や、エコアンドセーフティ事業についての取組の更なる促進を図っていく。 B ・グリーンニューディール基金事業やグリーンプランパートナーシップ事業などを活用した再生可能エネルギーの導入について、H26年度に実施した地域資源活用詳細調査結果も活用し、市町村への情報提供などを通じて低炭素地域づくりの促進を図る。 C ・道民生活に不可欠な暖房や自動車からの二酸化炭素の排出削減に有効な「水素エネルギー」の利活用促進を図り、本道における水素社会の形成を目指す。 D ・温暖化により引き起こされる事態に対応するための「適応策」に係る取組について、関係機関からの情報収集等を行い、今後の取組に向けた検討を行う。 E ・国の新たな温暖化対策計画や適応策などを踏まえ、北海道地球温暖化対策推進計画の適切な見直しを行い、施策の推進を図る。 F ・国や市町村、業界団体等と連携し、法制度の周知を図り、フロン類の管理の適正化を進める。														

二次政策評価の結果	5 改善意見									
	【意見区分】 <input type="checkbox"/> 総計 <input type="checkbox"/> 公約 <input type="checkbox"/> 行財政改革 <input type="checkbox"/> 進捗状況 <input type="checkbox"/> 前年度二次意見 <input type="checkbox"/> 指標設定 <input type="checkbox"/> 重点課題 <input checked="" type="checkbox"/> その他									
(具体の意見内容) 【その他 (人口減少)】 北海道創生総合戦略を踏まえ、再生可能エネルギーの利用拡大やエネルギーの自給・地域循環の促進に向けて、より実効性の高い取組となるよう検討すること。										

<改善:Action> 評価結果の反映:各部局が実施		平成28年3月末現在
6 評価結果の反映	<p>(1) 予算等への反映 [予算や組織改編等への反映状況]</p> <p>(具体の主な取組) <新たな取組等> ・再生可能エネルギーの利用拡大による温室効果ガス削減などに向け、北海道における水素社会のあり方を示す「北海道水素社会実現戦略ビジョン」を策定(H28.1)した。 ・水素社会実現に向け、引き続き水素の利活用に係る普及啓発を実施するほか、新たに燃料電池自動車の導入拡大に向けた水素供給等のモデル構築のための補助事業を実施する。 → 水素社会推進事業費(拡充)</p> <p><廃止・縮小、見直しを行った取組等> ・地域から取り組む地球環境の保全に関する施策は概ね順調に推進できていることから、事業の効率化や経費の節減を図りながら引き続き施策を推進する。 → ストップ・ザ・温暖化推進事業</p>	<p>(2) 改善意見への対応 [「5.二次政策評価の結果 改善意見」への対応状況]</p> <p>(具体の主な取組) 【その他:人口減少】 ・再生可能エネルギーの利用拡大、エネルギーの地域循環の促進に向け、引き続き再生可能エネルギーの導入促進を図るほか、水素社会の実現に向け、補助事業など具体的な取組を推進する。 → 水素社会推進事業費(拡充) → グリーンニューディール基金事業(継続)</p>

構成事務事業一覧

施策名	地域から取り組む地球環境の保全	所管部		環境生活部				
		施策コード	03 - 06					
整理番号	業務目標の設定(P)					事務事業評価(C)		
	主な取組	事務事業名	H27事業費(千円)	知事公約	地域重点	対応方針	必要な見直し	
							一次政策評価	二次政策評価
03070100	③	ストップ・ザ・温暖化推進事業費	1,688	○	○	A	○施策評価関連	○施策評価関連
03070200	④	エコアンドセーフティ推進事業費	1,198	○	○	A	○施策評価関連	○施策評価関連
03070300	①	グリーンニューデール基金事業	707,332	○	○	B	○施策評価関連	○施策評価関連
03070400	①	グリーンニューデール基金積立金	1,418	—	—	—	○施策評価関連	○施策評価関連
03070500	②	水素社会推進事業費	9,800	○	○	C	○その他	○その他
03070600	⑤	北海道フロン類適正管理推進モデル事業費	6,483	—	—	F	○その他	○その他
03070799	⑤	フロン排出抑制法に関する事業		—	—	F	○施策評価関連	○施策評価関連
03070899	—	その他内部管理事務		—	—	—	○その他	○その他
03070999	⑥	北海道地球温暖化防止対策条例及び地球温暖化対策推進計画に関する事務		○	○	D E	○施策評価関連	○施策評価関連
03071099	④	ガイアナイト(環境保全活動推進費)		○	○	A	○施策評価関連	○施策評価関連
03071199	④	普及啓発・広報広聴等事務		○	○	A	○施策評価関連	○施策評価関連
前年度繰越予算	②	水素社会推進事業費	4,884	○	○			
計			732,803	8 事業	8 事業		11 事業	11 事業
見直し検討							11 事業	11 事業
○施策評価関連							8 事業	8 事業
○義務的経費等							事業	事業
○その他							3 事業	3 事業
見直し検討外							事業	事業
×義務的経費等							事業	事業
×その他							事業	事業

※「業務目標の設定(P)」は事務事業実施方針より、「事務事業評価(C)」は事務事業評価調査書より抜粋。
 「知事公約」に○が付されたものは、知事公約に関連する事務事業。
 「地域重点」に○が付されたものは、地域重点プロジェクトに位置づけられた事務事業。

成果指標の分析結果

施策名	地域から取り組む地球環境の保全	所管部	環境生活部	
		施策コード	03	06

A 定量的指標の進捗状況

※年度毎の進捗率 目標値c欄の()表示は、経過年としての参考値

指標名(単位)・グラフ	指標の分析				
1) 温室効果ガス排出量 (万トン-CO ₂) 	指標の説明		中長期目標の達成率		
	道内の温室効果ガスの年間排出量を二酸化炭素換算で示すもの		区分	目標・実績値	年度
	関連する主な取組		目標値a	5,919	H32
	①、②、③、④、⑤		現況値b	7,306	H24
			達成率a/b	81%	
年度毎の進捗率				進捗度合	
区分	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	やや遅れ
目標値c	(6,038)	(6,023)	(6,008)	(5,994)	
実績値d	7,306	—	—	—	
進捗率c/d	83%				
2) 新エネルギー導入目標 (万キロリットル) *原油換算 	指標の説明		中長期目標の達成率		
	道内の発電・熱利用分野の新エネルギー導入量を原油換算で示すもの		区分	目標・実績値	年度
	関連する主な取組		目標値a	193.6	H29
	①、②、⑤		現況値b	174.8	H25
			達成率b/a	90%	
年度毎の進捗率				進捗度合	
区分	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	概ね順調
目標値c	(173.8)	(177.8)	(181.7)	(185.7)	
実績値d	165.0	174.8	—	—	
進捗率d/c	95%	98%			
3)	指標の説明		中長期目標の達成率		
			区分	目標・実績値	年度
	関連する主な取組		目標値a		
			現況値b		
			達成率b/a	—	
年度毎の進捗率				進捗度合	
区分	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	
目標値c					
実績値d					
進捗率d/c	—	—	—	—	
4)	指標の説明		中長期目標の達成率		
			区分	目標・実績値	年度
	関連する主な取組		目標値a		
			現況値b		
			達成率b/a	—	
年度毎の進捗率				進捗度合	
区分	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	
目標値c					
実績値d					
進捗率d/c	—	—	—	—	
5)	指標の説明		中長期目標の達成率		
			区分	目標・実績値	年度
	関連する主な取組		目標値a		
			現況値b		
			達成率b/a	—	
年度毎の進捗率				進捗度合	
区分	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	
目標値c					
実績値d					
進捗率d/c	—	—	—	—	

※単年毎に設定している目標値、毎年同じ目標値となっている指標については、中長期目標の達成率に記載がありません。

B 定性的指標の進捗状況

指標の内容	指標の分析	
	関連する主な取組	①、③、④、⑤、⑥
1) 温暖化対策の取組の推進状況	当該年度の進捗状況等	
	<p>再生可能エネルギーの導入や温室効果ガスの削減に向けた取組促進など、「北海道地球温暖化対策推進計画」に基づく施策の実施状況については、北海道環境審議会において、以下のとおり評価されていることから、「順調」と判断する。</p> <p>平成26年度の点検評価結果</p> <p>1 平成24年度時点では削減シナリオの想定削減量に達していないが、削減シナリオのLNG火発は31年の稼働による削減効果が期待されるなど、引き続き対策・施策を効果的かつ着実に推進することにより、削減シナリオは順調に推移していくものと考えられる。</p> <p>2 対策施策ごとの取組について道が行った自主点検・評価は、これまでと同様適切に実施されており、また平成25年度の審議会評価も26年度の施策に反映されるなど概ね適切。</p>	
2)	当該年度の進捗状況等	
3)	当該年度の進捗状況等	

進捗状況の総合判定結果

区分	進捗度合の指標数						総合判定結果
	順調	概ね順調	やや遅れ	遅れ	計	その他	
定量的指標		1	1		2		概ね順調
定性的指標	1				1	—	
計	1	1	1	—	3	—	
(比率)	(33%)	(33%)	(33%)	(—)	(100%)	—	
総合判定		○					

(総合判定結果に関する特記事項)